

SL-SUB, SL-GSUB



SL-SUB (フライング仕様)

SL-SUB/SL-GSUB

SL-SUBとSL-GSUBはGSL8とGSL12用に設計されたカーディオイドサブウーファーです。SL-SUBのリギングハードウェアは最大14ユニットまでのフライングを可能にする一方で、SL-GSUBはグランドスタックのみを意図しています。いずれのサブウーファーも、アクティブ駆動の2ウェイパスレフ設計で、3つの長い21インチのネオジウムドライバーで構成されています。うち2つが筐体前面に向いている一方、残りの一つは後方に向いています。前方、後方に向いたそれぞれのドライバーは独立したパスレフチャンバーを持ち、別々のアンプチャンネルによって駆動されます。カーディオイド指向性パターンはシステム後方への不要なエネルギーを減少させ、残響フィールドの励起を減らすことで、非常に正確な低音域の再生を可能にします。周波数特性は30Hzから90/70Hzまで拡張しています。SL-SUBのキャビネットがフロント、リア面にリギング用の縄を装備する一方で、SL-GSUBにはリギング用の部品はなく、グランドスタックのみを意図しています。

筐体は、船舶グレードの合板から出来ており、全天候型のPCP(Polyurea Cabinet Protection)仕上げを施しています。サブウーファーの全面と背面は音響的に透過性がある撥水性の布が裏から貼られた嚴重な金属製グリルのより貼り合わせてあります。二つのコロが底面パネルを保護する目的で前面から背面に掛けて取り付けられています。二つの対応した形状を持つ窪みがトップパネルに施され、サブウーファーがスタックされた際の受けとキャビネットが動くのを防ぐ役割を果たしています。サイドパネルは4つの窪んだハンドルと4つの頑丈な車輪がサブウーファーの背面にマウントされています。

d&b アンプ

d&b audiotechnikのスピーカーレンジは、d&b製のアンプでのみ動作させるように独自の設計をしています。これらのアンプは電源の供給と共に、d&bのシステムアプローチと関連し、ハイパフォーマンス、信頼性、長寿命を達成するための包括的な制御・保護機能も提供しています。SL-SUB、SL-GSUBの動作には、d&bのD80アンプの使用が要求されます。この大型サブウーファーは2ウェイアクティブモードでドライブされ、スピーカー1台当たり2つのアンプチャンネルが必要となります。

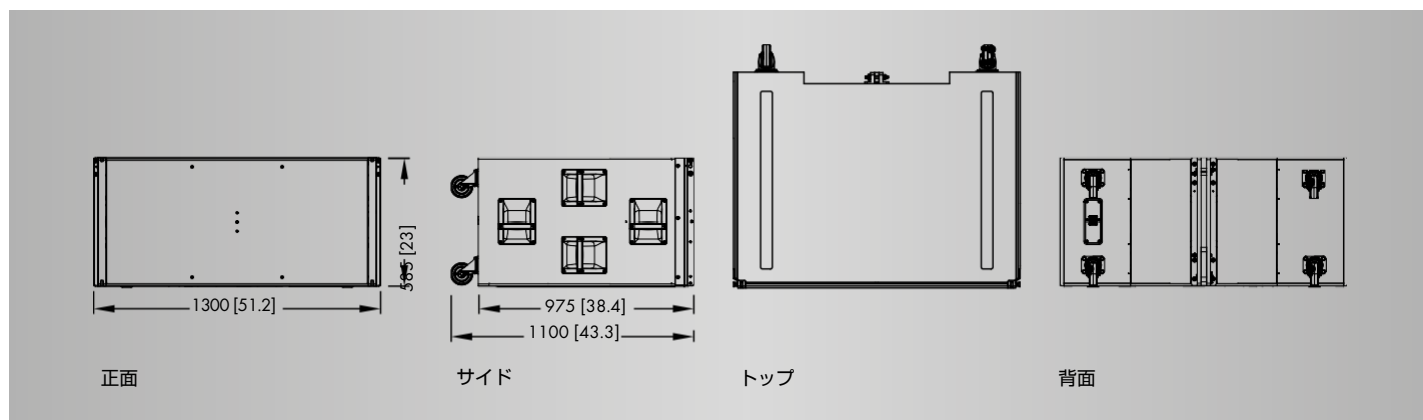
システムデータ

周波数特性(-5 dB 標準)	30 Hz - 90 Hz
周波数特性(-5 dB INFRA モード)	30 Hz - 70 Hz
最大音圧レベル(1m, 無響会場)	
D80使用時	144 dB
	(SPLmax: ブロードバンドシグナル IEC 60268)

スピーカーデータ

公称インピーダンス: フロント/リア	3/6 オーム
定格出力: フロント(RMS/ピーク 10 ms)	1000/4000 W
定格出力: リア(RMS/ピーク 10 ms)	500/2000 W
コンポーネント	3x21" ドライバー
コネクター	1 x NLT4 F
重量 SL-SUB	138 kg (304 lb)
重量 SL-GSUB	132 kg (291 lb)

SL-SUB, SL-GSUB



SL-SUB, SL-GSUB 筐体寸法 mm [インチ]

機能と特長

- INFRAモードでは90 Hzから70 HzまでのSL-SUB/SL-GSUBの動作レンジの上部の音圧を減らします。
- カーディオイド出力パターンが候補への音の回り込みを防ぎます。
- 最大14ユニットまでのSL-SUBが垂直方向にフライング可能です。
- 卓越したヘッドルーム
- 効率的なケーブルシステムとアンブラックアッセンブリー

適応分野

- 大規模のSRアプリケーション
- フェス
- スタジアム
- アリーナ



SL-GSUB (グラウンドスタック仕様)